

別海町郷土資料館だより

No.71・2005・6

「加賀家文書歴史講座」のお知らせ

～根室から箱館への道のり・厚岸のお殿様が見た別海～

今年度の講座は、「根室から箱館への道のり・厚岸のお殿様が見た別海」と題して、1回目の講話では、伝蔵や別海のアイヌ仁助らが1855（安政6）年3月2日に根室を出発し4月10日に箱館に到着するまでの足取りをたどり、なぜ仁助が病気を押しつけてまで箱館に向かったのか、その理由を探ります。2回目は厚岸のお殿様と呼ばれた調役らが別海にやってきたときの記録から、当時の別海や野付の様子を見ることにします。

●第1回目●

日時 平成17年6月15日（水）

午後7時～午後8時30分

場所 加賀家文書館

内容 講話「根室から箱館までの道のり～仁助と西別川」

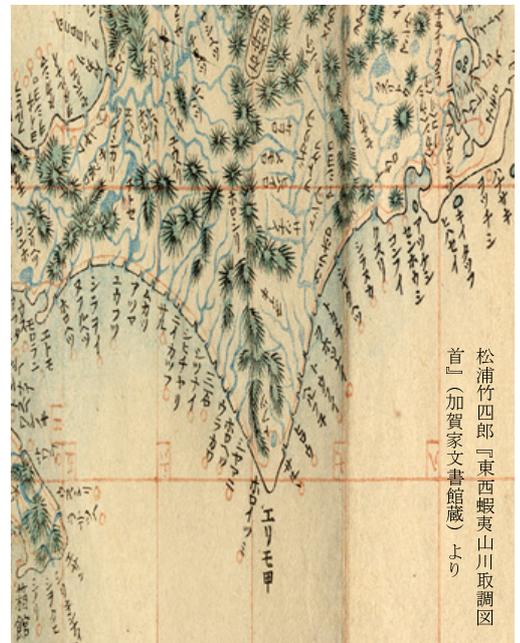
●第2回目●

日時 平成17年6月16日（木）

午後7時～午後8時30分

場所 加賀家文書館

内容 講話「箱館奉行・組頭・厚岸の調役の見廻り～西別川一件・オンネニクルの畑作・オムシャ」



参加申し込み案内

1. 対象者

原則として2日とも参加できる方。

ただし、都合により参加できない場合は申し込み時にお知らせください。

2. 募集人員 20名

3. 参加申込み先

郷土資料館へ電話・FAX・メール（裏面に記載しています）のいずれかにてお名前・電話番号をお知らせください。

4. 申込み受付期間

平成17年6月14日（火）まで。ただし、定員になり次第締め切ります。

郷土資料館・加賀家文書館のお知らせ

6月（■は休館日）

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

●開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

●観覧料 一般個人 300円 一般団体（10名以上）240円
高校生以下は無料となります。

マンモスゾウ臼歯化石海底調査

現在、愛知県名古屋市で開催中の「愛・地球博」でロシアの永久凍土から発見された冷凍マンモスゾウが展示され大きな話題を呼び一度は見たいという方も多いのではないのでしょうか。しかし、マンモスゾウに関しては、野付半島沖でのウニ・ホタテ漁により、1981年・1986年・2003年に臼歯化石が発見され、その他、根室海峡では羅臼沖2点と国内で有数の研究ポイントとなっていることはあまり知られていません。

2003年に発見された臼歯化石の鑑定者高橋啓一氏（滋賀県立琵琶湖博物館総括学芸員）は、「1個の化石が見つかったということは、その何倍のマンモスゾウがいたということ、野付半島沖は発見される可能性が極めて高い」ということから、野付漁業協同組合及び同組合所属第68盛祥丸のみなさんの

協力で、2004年から漁船に乗り込み海底調査を実施しています。海底調査は、ホタテ漁の漁船で行われます。「八尺」という大型のクマデのような漁具で、海底から掘り出されるホタテとともに揚がるゴミや石の中から化石を探す作業です。

2004年の調査では、陸上動物と思われる骨の化石が発見されましたが、種及び部位を確定するには足りませんでした。2005年は、5月13～14日に実施されましたが、残念ながら新たな化石の発見はありませんでした。次年度以降も調査は継続して実施する予定です。

マンモスゾウ臼歯化石及び海底から発見された化石については、郷土資料館で展示していますので、是非ご覧下さい。（文責 石渡一人）



八尺



海から網を揚げる



この中から化石を探す



2004年発見の化石

加賀家文書館第4回特別展 「野付通行屋跡遺跡発掘調査」

平成15、16年度に実施した「野付通行屋跡遺跡発掘調査」で発掘された遺物を中心に、発掘の現場の写真、畑跡の剥ぎ取り土層などを展示した特別展を加賀家文書館にて開催中です。期間は今月30日までで、通常の入館料でご覧いただけます。是非お越し下さい。

別海町郷土資料館だより No.71
発行日 平成17年6月1日
発行所 別海町郷土資料館
別海町別海宮舞町30番地
電話 0153-75-0802 (FAX 兼)
e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記 5月になってもちっとも暖かくならず、毎日ストーブに火を入れる毎日でしたが、中旬になってようやく暖かい日が続き、郷土資料館横に植えてある桜もおそろおそろという感じで薄桃色の花を咲かせました。ところがこれを書いている発掘作業初日の今日(24日)はまた寒さがぶり返し、まさに花冷えです。(戸田)